

公表

事業所における自己評価結果（保育所等訪問支援）

事業所名		こども発達支援センター 大分なごみ園			公表日 2025年2月25日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など
環境・ 体制・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	2		適切である。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2		必要な時に保育所等訪問支援ができるだけの職員配置が配置されている。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2		訪問先での様子を記録に残すと共に、朝礼・終礼で報告し他職員にも情報共有を行なっている。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		今年度より評価表を願ひし、指摘事項については改善を行っていく。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		訪問先での様子を報告する場所として、終礼や職員会議の場があるので、そこで他の職員の意見も取り入れながら、次の訪問への準備を行うようにしている。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2		今年度より訪問先へ評価を願ひし、指摘事項は改善を行っている。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2		法人内でのキャリアパスや種や事例検討会へ参加し学びの場は確保されている。
適切な 支援の 提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2		啓作作成前には、前期の計画を振り返りながら保護者へアセスメントを取るよう工夫している。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2		日頃の業務の中で、他職員との連携や情報の共有をおこなっているため、園全体で支援体制が出来ている。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2		担当者の方とも密に連携し、それぞれの機関での移行も考慮した内容の計画を作成している。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		計画は他職員も確認できるようにして、全職員で統一した支援を目指している。
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2		ガイドラインに沿った支援を行っている。
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2		朝礼時に確認を行い、職員全体で支援を行っている。
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2		記録を行い、振り返りや今後に向けての話を全体で話している。また、記録もどの職員も閲覧できるようにしている。
	16	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2		訪問先への尊重や経緯を持って接する事を心掛け、協働できる関係性を築くよう工夫している。
	17	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2		毎回支援記録を残すことで、計画作成時にも検証する事が出来ている。
18	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2		半年に一度、モニタリングを行い、記録等も照らし合わせながら、次の計画の立案を行っている。	
19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2		訪問担当者が会議に参加している。参加が難しい場合は事前情報を伝えている。	

関係機関や保護者との連携	20	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	行政や各教育機関・保育機関とも連携を行い、情報の共有等に努めている。
	21	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	就学前には会議を開き、移行がスムーズに行えるよう、就学先に情報を提供している。
	22	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	外部研修や内部でのOJTを行い、質の向上に勤めている。
	23	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	自立支援協議会への直接参加はないが担当者会議等上がった意見は参加者に伝えている。
	24	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	2	訪問支援後は、保護者に必ず報告している。
	25	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	保護者からの相談には丁寧に対応し、適切なアドバイスを行っている。
保護者等への説明等	26	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	サービス利用開始前に、重要事項説明書や契約書の説明の中で運営規程や支援内容、利用者負担等について説明を行っている。
	27	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2	訪問先には、保育所等訪問支援の意義をお伝えし、保護者の要望も必ず伝えるようにしている。
	28	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2	半年に一度モニタリングを行い、計画は要望等を踏まえて作成している。
	29	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2	必ず、計画内容の説明を行い同意を得ている。
	30	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2	子育てについての悩みはいつでも相談できる体制を整えている。
	31	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	保護者会やお祭り、クリスマス会など相談できる体制を整えている。
	32	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2	問題が起こった際には、迅速かつ丁寧な対応を行っている。
	33	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	ほうもんさきでの様子など、写真や動画撮影がOKな場合は撮影し、保護者にも視覚でわかりやすい報告を行う場合もある。
34	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	取り扱いについては慎重に行っている。	
35	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2	アプリを利用して連絡ツールを確保している。保護者への連絡もいつでも確認出来るように配慮している。	
訪問先施設への説明等	36	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2	訪問先からも、問題がおきると連絡がもらえ、情報の共有を行える関係性を築いている。
	37	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2	必ず行ない、対応や環境の設定について確認をし、次に訪問へ繋がるようにしている。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2	訪問先と個なったカンファレンスの内容もお伝えするようにしている。
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	取り扱いについては慎重に行っている。
40	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2	訪問先から頼りにされるよう関係性作りを心掛けている。利用児への適切な支援への第1歩だと考える。	
41	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	保護者会時にマニュアルについての説明確認を行うようにしている。	

非常時等の対応	42	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	法人内で作成されたマニュアルと、園で作成しているマニュアルが必要に応じて活用され、安全面での管理は行われている。
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	事故防止に努め、ヒヤリハット報告があった場合には職員間で周知を行っている。
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	虐待防止・身体拘束についての研修を毎年行っている。
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	必要な利用児に対してはけいこくへの記載を行い、保護者への説明をおこなって、署名をいただいている。